

1階

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	24		
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3		
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で生きる事を目指して地区の夏祭り・運動会・餅つき大会等に積極的に参加している。	1	地区の行事にはもれなく参加し地域の方々と語り合うようにしている。	
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を全員で読み上げる事によって再認識できるようにしている。	1	サービス担当者会議に於いて、皆で一緒に読み上げている。	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	苑の行事に地域の方の参加を呼びかけ、地域の行事へは参加する。 上記の事を家族へ説明している。	1	苑の行事にはなるべく多くの家族の方に参加して頂けるよう案内している。	
		2	2 地域との 支え合い	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	まずは笑顔で挨拶を。。。から始めている。事業所の行事には隣近所へ案内を出し参加を募っている。	1	行事の物品を近所の方にお願ひし、もらったり購入したりし、参加へもつなげている。	
	5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の老人会と連絡を取り合い毎月の苑の行事にボランティアとして参加して頂いている。	1	地域の老人会やボランティア団体機関へ施設の見学を勧めて行く。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 合 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域・苑、双方の行事を通じて交流を行い情報交換している。	1	学校などへ出かけて事業所のこと、介護・医療の事等を子供たちに発信している。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	5	
		7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部からの評価を受けることで、自己の評価を修正し次の介護に生かすよう心掛けている。	1	職員の目線で介護を考えないようにしている。
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所・地域の方々・家族そして本人と話し合っている。	1	会議では、事例発表を入れる様にしたり、家族や本人様の意見をしっかり述べてもらっている。
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	1.年に6回市役所主催のケアマネ研修に参加担当部署との連携を深めている。 2.書類作成時や事業展開時には、市役所へ出向き指示を受け連携を行っている。	1	春日市役所高齢課・介護保険課・生活保護担当者とはしばしば連携している。
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員・管理者は地域の弁護士会主催の権利擁護研修会に参加し、研さんを深め、地域の中にケースがあれば活用できるよう準備をしている。	1	具体的な事例はまだないが、弁護士等の相談窓口はしっかり把握している。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記の研修会あるいは薬物依存関連問題学会などへ参加し、虐待の情報や法律について学ぶと共に、職場の中で取り組めるよう図っている。	1	以前、虐待を受けていた方を当苑では受け入れている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	7	
理念に基づく運営	理念を 実践する ための 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	専門用語はあまり使わず、分かりやすい言葉で十分に説明する。と共にいつでも気軽に相談できる事も伝えている。	1	措置から契約へと言う流れも説明している。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入所者がいつでも何でも言える様な雰囲気作り、コミュニケーションをとるよう心掛けている。	1	日々の介護の中で実践し過ごしている。
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族来所時は、連絡ノートを含め報告すると共に、金銭出納帳もチェックして頂いている。	1	来苑出来ない家族へは、電話や文書にて報告・説明している。
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱は設置しているが、今のところなし。	1	電話や口答での申し入れを伝えて対応している。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常日頃からコミュニケーションを深め、意見・要望を出すようはかっている。	1	意見を反映させ、運営をスムーズにいくようにしている。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務者の希望を優先して、勤務表を作成・行事や利用者の都合による勤務変更はその都度話し合っている。	1	行事等の場合には細かく時間を区切って複数の職員に出勤してもらっている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	移動や離職に対しては、十分配慮している。スタッフがかわれる場合はしっかりと引き継ぎを行い同様のケアができるよう配慮している。	1	入所者の方には負担がないようにしている。
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	6	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員採用に制限は全くつけていない。福祉の専門事業所として、利用者・職員の人材には気を配っている。	1	この職種の特徴として、人間が好きである方を採用したい。
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	管理者はスタッフの手本となるべき態度を示している。そして、苑内研修や日々の業務の中でスタッフへ指導している。	1	入所者に接する際には、基本的人権を守るよう配慮しながら、言葉づかい、態度に気を配っている。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	専門的知識・才能を獲得する為に、業務の間をぬって資格取得や研修に出席出来るよう配慮している。	1	将来的には働くスタッフ全員が資格を取得することを目指している。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修現場や行事等で同業所と接する機会を多く作り、交流を深めている。	1	同業所の方へ見学に行く。また、受け入れなどを通じて情報の交換を行っている。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレスはどうしても積み重なる対応として、スポーツや映画、演劇等に参加を勧めている。	1	職員同士のコミュニケーションがうまくいくよう気配りする。ストレスは職員同士がうまくいくことで軽減される。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフへは、福祉や介護の理念、それに基づく新しい情報等を伝え、スタッフ全員が向上していくことを目指している。	1	スタッフが働きながら資格取得が出来るようつとめている。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	10	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	4	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回面接を重要視している。優しく受容的態度で受けとめ、相談者本人が話やすい雰囲気を作るよう努めている。	1	どのような相談でもいつでも相談できる準備をしている。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談の電話はよく入っている。その都度内容に応じて対応している。見学も受け入れている。	1	家族なりの悩みや相談に対し、他の相談機関の紹介も含めて対応している。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	さまざまな悩みを抱えた相談者に対して、良く聞き、よく受け止め相談にのっている。	1	入所やサービス利用の話だけでなく、介護全般や、福祉サービスの相談にのっている。
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まずは、ゆっくりと落ち着ける環境づくりを行う事に気配りをしている。	1	体験入居して頂いたり、家族と一緒に食事をとる等している。
	2	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	6	
係り2 継続これ 新たな 関係の までの 支援の 開く	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者と一緒に食事をとりおしゃべりをする等一体となるようなケアを行っている。	1	一方的なケアではなく、入所者の経験や人生を学ぶ姿勢でケアに取り組んでいる。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人からのサインを読み取った時や介護計画を作成する場合、家族へ連絡し、あるいは来所の折、一緒に支援する関係を作っている。	1	キーパーソンの家族だけでなく、他の家族の方にも折りを連絡し交流を図っている。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族が足しげく訪問して頂けるよう働きかけをし、本人様の部屋や雰囲気作りを行っている。	1	家族へ本人との食事を勧めたり（苑内の食事や外食をとる）、本人のスナップ写真を差し上げたりしている。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の行事や苑の行事の時に連絡を取り、参加して頂き交流をつないでいる。	1	友人や親しい方々との関係は薄れていく傾向にあるので、家族へ連絡依頼し交流を願っている。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	仲の良い方、悪い方と分かれるが、トラブルにならないよう又、孤立しないような対応を行っている。	1	うまくいかない関係も、時間をかけて良い関係へ向くよう支援している。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりはなくなっても、一般的な相談や悩みについてはいつでも相談や悩みについてはいつでも相談にのれることを伝えている。	1	今後の関わりが必要な時はいつでも対応できるように伝えているし対応する。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	17	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	3	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1.本人・家族とのめんせつを重視。 2.日々の生活を観察することにより、本人の思いや意向を推測している。	1	本人の思いや意向が把握できない方もあり、その時は家族から本人の詳しい生活感を聞きとるよう努めている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人からの情報はほぼ把握できないので、なるべく多くの家族や知人から情報を頂いている。	1	特に重要なのは、医療情報だが、これがなかなかとれていない。今後は積極的にとっていきたい。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	総合的判断は難しく、事業所全体の職員間の連帯で行っていく。	1	ややもすれば、日々の業務に追われて、面接時間がとれていない。面接をもっと増やす必要がある。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価 18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月 1 回、全スタッフ集まり、担当会議を開き、本人や家族及び、関係者の意見を交え、本人本位の計画を作成している。	1	会議の席へ家族の参加が今一つである。(今後会議参加の案内を出す。)
		39 外部評価 19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	二ヶ月ごとに介護計画を見直ししている。又、退院後は状態の変化に応じて見直し作業を行っている。	1	三ヶ月間の見直し内に介護更新が為されれば見直しを行っている。
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日介護記録を行っている。状況変化や重要な事態があれば申し送りノートで全職員が把握しケアの方針を一定にしている。	1	日誌の外に、ヒヤリハット・バイタルチェック、排泄・飲水・入浴等、細かな記録を行いケアに生かしている。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価 1 項目・外部評価 1 項目	1		
	3 柔軟な支援	41 外部評価 20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	情報把握については、口答、申し送りノート、担当会議及びその記録で共有し、同一の支援につなげている。	1	隣接の多機能の事業所のサービスや機能を活用しつつ、種々の要望にこたえるようにしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	10	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の老人会、民生委員、ダンスやカラオケのボランティア、社会福祉及び、教育機関と協力しながら本人の意向に添い支援している。	1	地域の子供たちとの交流を図りたいと考えている。
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人及び家族の意向に沿い他の施設のケアマネージャーと関係を取りつつ、施設移動を支援している。	1	今後、他施設への転所等の相談が増えると思われるが、地域のケアマネージャーとの密な連携を目指していく。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	二ヶ月に一回以上、研修会や業務の中で、本人の意向に沿ったケアマネジメントを協働している。	1	他地域の地域包括支援センターとの情報交換や、協働を行っている。
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の受診負担を軽減するため、往診医と関係・協力して苑内にて医療サービスが受けられるよう支援している。	1	本人・家族と十分に話し合い、本人・家族の希望に沿った医療サービスが受けられるよう支援している。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	希望があれば、本人・家族に対し認知症の専門医療機関を紹介し、送迎など受診援助も行っている。	1	かかりつけ医と連携、専門病院への受診援助へつなげることも行っている。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎朝、バイタルチェック、又、様子に変化があればすぐに看護職に相談・協力して支援している。	1	往診医療機関との看護職とは毎週気軽に相談し協力を願っている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	本人がより良く暮らし続けるための地域の資源との協働	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院の時は2日に1回は見舞い、洗濯ものを交替し安心してもらっている。又、病院の関係者と連携・情報交換している。	1	本人や家族の意向を受け、早朝に退院できるように入院先の医療機関に働きかけている。
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	まず、契約時に本人や家族と重度化・終末期について話し合いをもっている。また、そのことを主治医やチーム全員で共有している。	1	重度化及び終末期には、家族の意向を把握し主治医と繰り返し連絡し、ケアの方針を全員で共有している。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族の方の希望により、「看取り」の介護を行い、家族の方より感謝された。	1	重度化や終末期ケアについては、医療との強い連携が必要で、在宅往診を依頼して、協力体制をとっている。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	きちんとした、詳細な情報があれば、本人及び家族の安心につながる。転所先の情報を詳しく分かりやすく説明するようにしている。	1	利用者及び家族には、個々に種々の問題を抱えており将来をみこした転所などにも幅広く相談・支援している。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	38	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	30		
	1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3		
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩に対する敬意ある対応を行うよう心掛けている。	1	忙しさにかまけて、ぞんざいな口調や対応にならないよう又、プライバシーを守るようケアを行っていききたい。
	53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	希望が出せない利用者もおられ、声かけに注意しつつ、何でも話せる雰囲気作り心掛けています。	1	病気の進行に伴い、出来ない事が増えているが、それがわからなく以前のケアを行う事があった。心していく。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	若い職員が多く、介護等のペースが早くなることもあり、職員間で利用者のペースに合わすよう話し合いながら介護を行うよう心掛けている。	1	個性を尊重するよう配慮している。本人から把握出来ない場合は家族から情報収集し対応している。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家族の協力のもと好きな服などを持ってきていただき着用している。	1	行事の時にはお化粧をして頂き、希望する方にはマニキュアをして頂きおしゃれの楽しさを未合せて頂いている。
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	手作り料理にこだわっている。好き嫌いも激しい方がいらっしゃるが、好みに合せている。	1	個々の方の好みや希望に合わせて調理するよう心掛けている。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個々の好きなお菓子・お酒を預り毎日楽しんで頂いている。(家族からも差し入れて頂く)	1	野菜嫌いで食べられない方については、野菜ジュース、食べやすいビタミン食品など、本人の希望で提供していきたい。(一部行っている。)
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンの把握、日々の排便・尿を記録し定期的に声かけしたり、主治医から下剤の指示をもらったりしている。	1	上下肢筋力の向上が排泄のスムーズさにつながる為、運動や体操などの訓練も取り入れている。
		59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人一人の希望や身体状態に合わせて入浴をしてもらっている。	1	夜に入浴したいと言った希望がある。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間徘徊がひどい方は、自室(洋室)でなく和室で寝てもらい安心されている。	1	昼間は眠らないように声かけし、日光浴をしたり、外出に出かけたりしている。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の個性は様々。外が好きな方は散歩、室内での作業が好きな方は、そのような、といった画一的にならない支援をしている。	1	ある程度の家事をやって頂きたいが、危険や事故を想定し、二の足を踏む事が多い。よく考えて出来る事は積極的にして頂く。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方については自由に自己管理し、使ってもらっている。不明金やお金の貸し借りがないように観察している。	1	一部の方しかお金を持っていない。他にもお金の管理できる方を判断して使って頂くようにしたい。
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望者を募り週3回はドライブに出かけている。行き先々では花や景色を楽しむ。	1	外出拒否の方もいるが、外出先によっては、食べることが目的の時は参加される。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	車でしか行けない所へ苑の車で遠出し楽しむ機会を作っている。	1	公共交通機関にのって旅に行きたい。との希望があるがまだ果たせていない。御家族へ依頼する。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望にそって取りついでいるが、耳が遠くなられて電話の使用は減っている。	1	認知症により手紙も書けない。旅については、家族の訪問をお願いしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族へは毎月のお知らせの中で行事の案内を同封し、来苑をお話している。	1	毎月、利用者の方の誕生日会を開催、誕生日でない方の家族へも参加をお誘いしている。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	8	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の具体的な行為については職員が集まり検討している。マニュアルを作成し、身体拘束ゼロに向けて支援している。	1	利用者が自分の家族であるという思いを持って身体拘束をとらえるようにしている。	
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	時折だが、外に出て行かれた入所者を探し回るといふ事がある。常に人数確認を心掛けている。	1	鍵をかけるかけないについては家族も意見が分かれており常に家族と話し合っている。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の安否確認は常に行っている。時には外へ出られた利用者について歩くこともある。	1	プライバシーを重視しているが時折、許可なく居室のドアを開けることがあり、あやまっている。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意品が理解不能な方については、そばに置かない又夜間は全て収納している。	1	現状では、危険物という認識がない方がほとんどであり、収納など注意している。	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	専門機関との連携をとって対応している。	1	行方不明の方の捜索については、未だ地域との協力がとれていない。一例として警察などがある。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	担当者会議について、個々の利用者について話し合っている。	1	職員が順次応急手当の研修に参加している。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に二回、消防署の指示により避難訓練を行っている。	1	地域の方、隣家、民生委員や地区の老人会の方々にも避難訓練に参加頂いている。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ケアプラン作成時(担当者会議にて)にリスクについて話し合いをもっている。	1	抑圧しないこと、は、反面転倒などのリスクにつながるが家族も理解されている。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	7	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝、バイタルチェックを行い、利用者に変化が見られるときには改めてバイタルチェックし職員間で共有している。	1	特に入浴時には、利用者の身体全体をチェックし異常の発見に努めている。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬の効能や重要性を担当者会議や日々の業務の中で再確認しながら支援している。	1	利用者に変化があり、その対応が服薬に及ぶ事であれば、すぐに主治医に相談・対応している。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	野菜中心の献立を多くしたり、体操を取り入れたレクレーションを行い便秘を予防している。	1	なるべくトイレへ座ってもらい、便が出るように支援している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後すぐに洗面所にて歯磨きをするよう声かけがしている。プラス週2回ポリドント施行している。	1	歯の状態が悪い方については往診の歯科医へかかっている。	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調・症状により、水分摂取が重要な方には、ペットボトルにその方専用の水分を渡し摂取に努めてもらいその賞味も説明している。	1	食量・水分量は全員記録してケアに生かしている。好き嫌いが激しく栄養の偏りが見られる方には他の補給食品をすすめるなど工夫している。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	玄関先、各トイレ、洗面所には手指洗いを置き又足拭きも入り口に置き予防をしている。	1	トイレや入口には、床に消毒用マット、手指の消毒ポンプ、各居室には消毒した水タオルをおく。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手作りにこだわり、宮崎から新鮮な食材を手に入れるなど安心安全（有機野菜）にも心掛けている。	1	手間はかかるが、今よりはもっと頻りに買い物に行き、新鮮な食材を準備しようと考えている。	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	8	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	5	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先や裏庭には季節の花々を植え、玄関には常に生花を生けて訪問される方を迎えている。	1	毎日玄関回りの掃除を行っている。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や食堂、洗面所などに季節の花を飾り、居心地の良い空間を作るよう配慮している。	1	絵などをかけるスペースを作っていこうと考えている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置に工夫をしたり利用者の方の写真を飾る等居心地の良い場所づくりを考えている。	1	食卓には利用者の希望を取り上げて、好きな場所で食事してもらっている。	
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様の写真やお好きな絵、飾り物等を壁などに貼ったりして居心地の良い場所作り心掛けています。	1	工夫して、本人様の工芸作品などもっと飾るようにしていきたい。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日、天気がいい日は朝、全居室の窓を開けたり、クーラーを活用して換気空調や温室管理をしている。	1	利用者の方は、寒さに敏感で、寒いという要望が多い。状況をみてすぐに対応している。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	3	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー化、手すり設置は完成されているが車椅子が安全に又、スムーズに動けるよう机やイスなどの配置を考えている。	1	風呂場の外、洗面所に手すりがあればもっと良くなると思われる。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	分かる力は年々低下していくが、職員がサポートしながら失敗してもチャレンジするよう心掛けて支援している。	1	利用者の自宅の前には、表札をかかっているが、それに気がつかない方には、ドアに大きく名前を書いて貼って自室が分かるようにしている。	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	裏庭には、花や木を植えている。水やりや草取りも利用者と共にい癒しの場ともなっている。	1	ベランダはないが、裏庭及び空き駐車スペースで日光浴やレクレーションの場として活用している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。